

Logisnext

**【訂正版】2023年3月期第3四半期
決算説明資料**

**2023年5月17日
三菱ロジスネクスト株式会社**

- 2023年5月10日に開示の「（訂正・数値データ訂正）「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について」の訂正内容に合わせて、本決算説明資料の訂正を実施いたしました。
- 訂正箇所は____を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから上記の訂正事項については、訂正後のみを記載しています。

市場環境

- 世界経済は、インフレ抑制を目的とした各国中央銀行による利上げや昨年2月以来のロシアによるウクライナ侵攻の影響から停滞、減速状況が続いている。また、資材費や輸送運賃の高騰、サプライチェーンの混乱も、地域差はあるものの依然として高い水準で継続している。
- 物流機器市場は、国内においてはコロナ禍前と同様の水準で推移。海外においては、米州は景気の減速感もあるが物流ニーズは底堅くコロナ禍前を上回る需要が継続、アジアも高い水準で推移する一方、欧州はコロナ禍前の水準は維持しながらも縮小傾向で推移、中国は減速感が見られる。
- 当社においては、部品供給の遅れによるリードタイムの長期化や資材費・輸送費等の高騰が続いているが、受注については、地域差はあるものの概ね順調。国内、海外において生産の整流化に努め、年度前半に比して生産、出荷を進めることができおり、それに伴い価格改定の効果も出てきている。

連結業績概要

- 売上高は、米州、欧州を中心とした販売台数増に加え、為替の円安影響が追い風となり、前年比+30.9%の増収。
- のれん等償却前営業利益は、特に米州における好調な受注を背景とした売上高の大幅な増加に加え、為替の円安影響や価格改定効果が寄与し、前年比+52.1%の増益。

2. 決算ハイライト

(単位：億円)

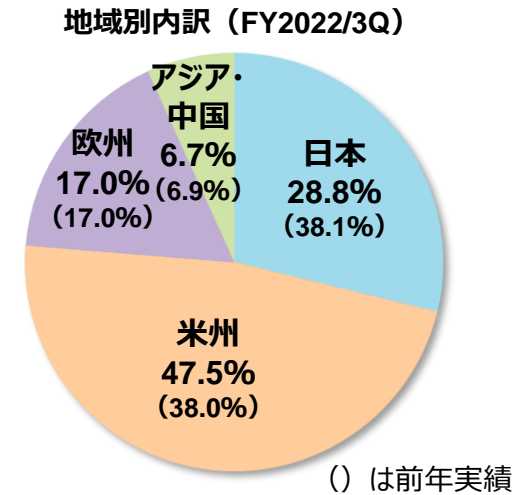
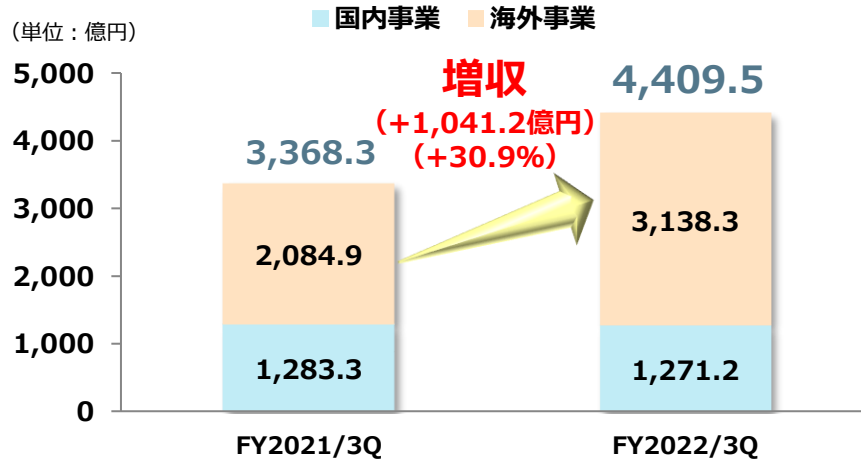
損益計算書	FY2021/3Q	FY2022/3Q	前年同期比増減	
売上高	3,368.3	4,409.5	+1,041.2	+30.9%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	100.2 (3.0%)	152.5 (3.5%)	+52.2	+52.1%
のれん等償却	70.5	76.3	—	—
営業利益 (営業利益率)	29.7 (0.9%)	76.2 (1.7%)	+46.4	+156.1%
経常利益 (経常利益率)	27.4 (0.8%)	62.6 (1.4%)	+35.1	+128.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	3.4 (0.1%)	28.8 (0.7%)	+25.3	+731.9%

FY2021/3Q実績レート：USD = 111.11円 EUR = 130.61円 CNY = 17.25円
 FY2021/4Q実績レート：USD = 112.38円 EUR = 130.56円 CNY = 17.51円
 FY2022/3Q実績レート：USD = 136.51円 EUR = 140.59円 CNY = 19.88円

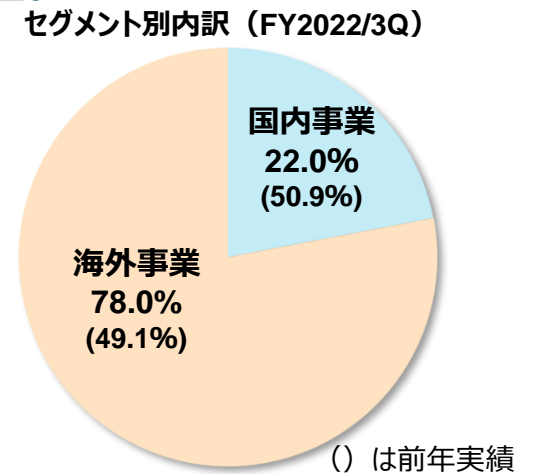
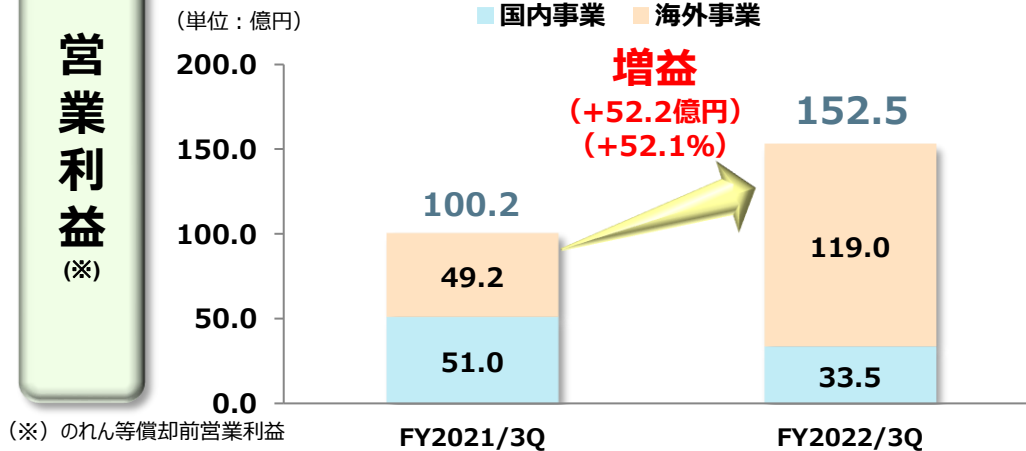
貸借対照表	FY2021/4Q	FY2022/3Q	前期末比増減	
総資産	4,056.0	4,698.4	+642.4	+15.8%
総負債	3,418.6	3,989.6	+571.0	+16.7%
純資産	637.3	708.7	+71.3	+11.2%

3. セグメント別業績

国内事業は僅かに減収となったが、海外事業の欧米での販売台数増及び為替の円安影響により、
トータルでは前年同期比+30.9%の増収。

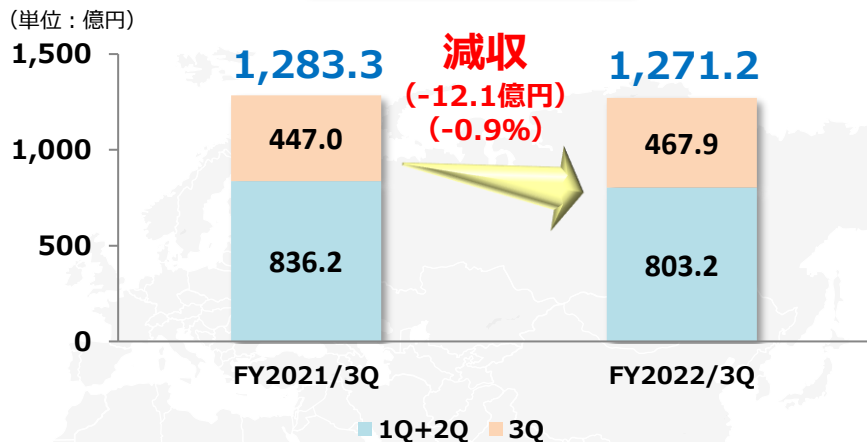


国内事業は売上減、コスト高の影響を受け減益となったが、海外事業の売上高増と価格改定効果が寄与し、トータルでは為替影響も加わり前年同期比+52.1%の増益。

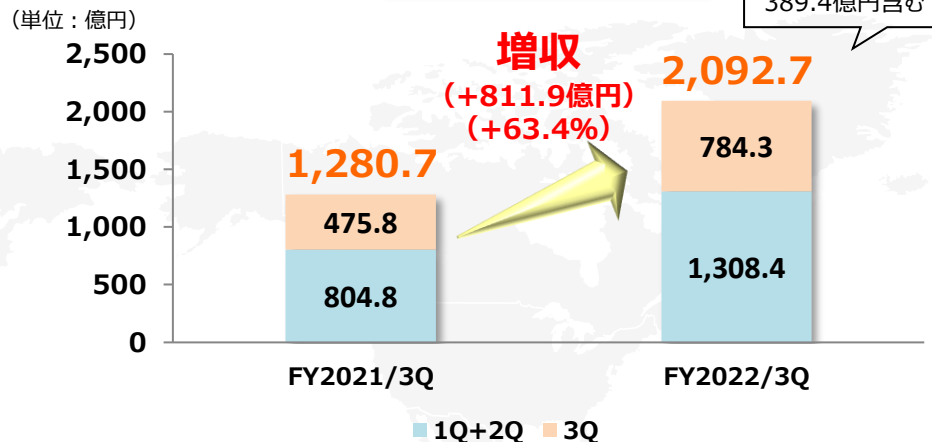


4. 地域別売上高 (為替影響含む)

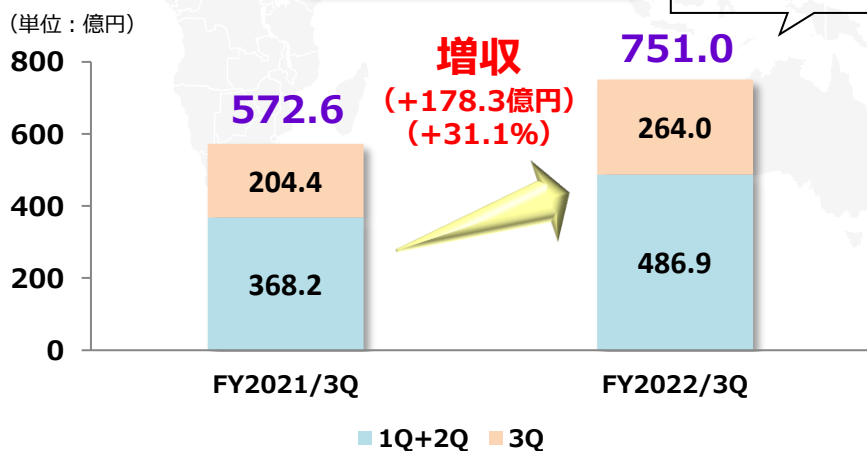
日本



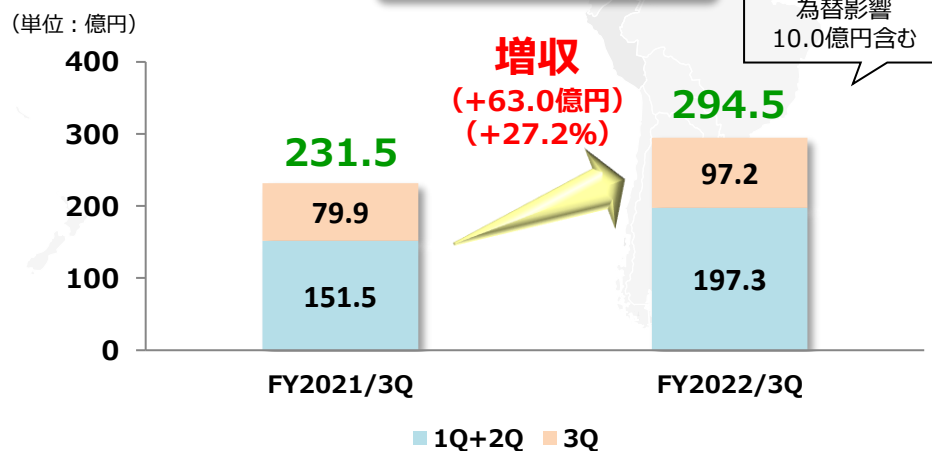
米州



欧州



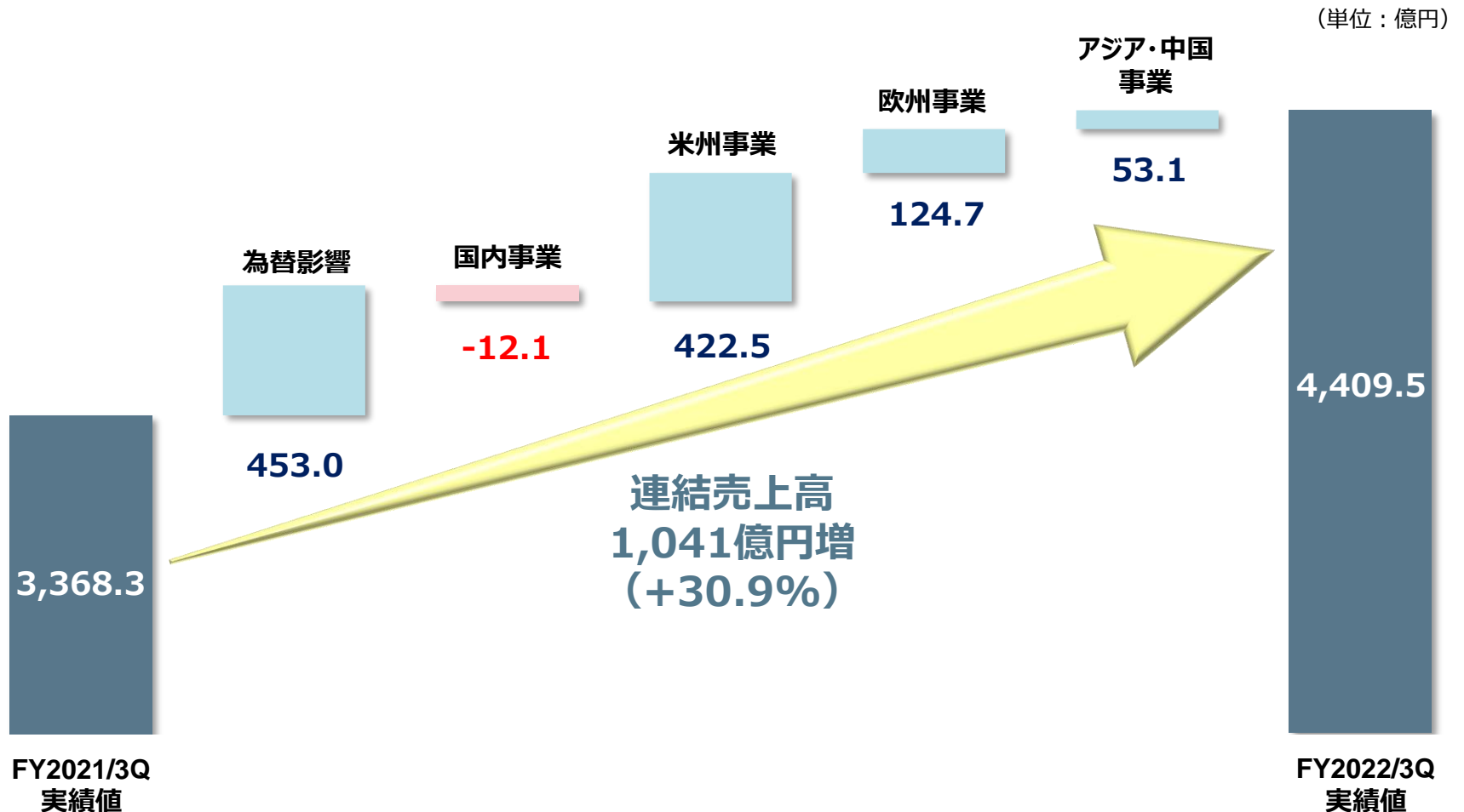
アジア・中国



5. 連結売上高増減要因 (前年同期実績対比)

国内事業：年度前半の部品欠品による出荷不足が響き減収。

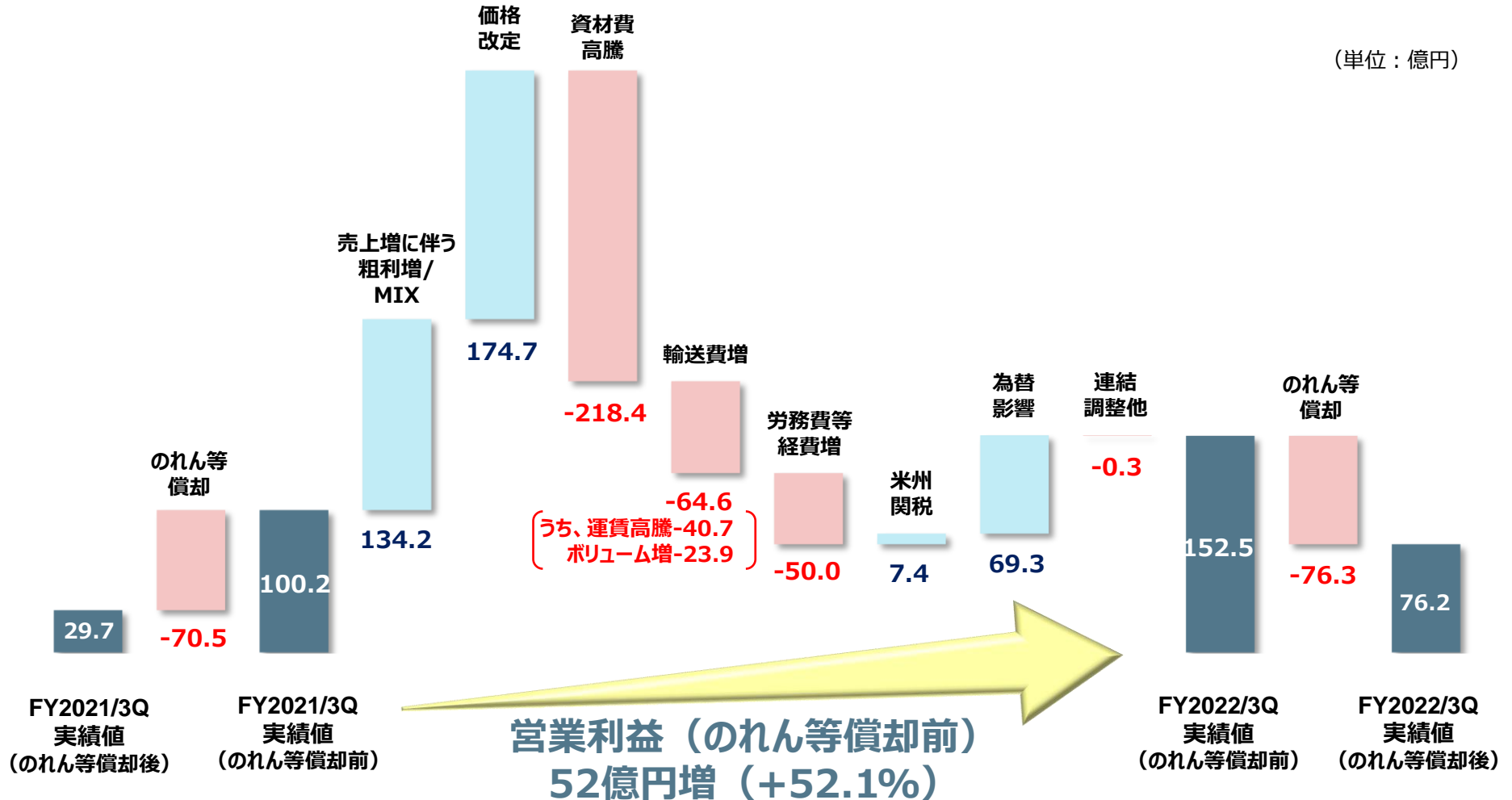
海外事業：米州、欧州を中心とした販売台数の増加、為替の円安影響に加え、EQD社(※)でのレンタル事業の伸長が寄与。欧州、アジアでも売上を伸ばした。



(※) EQD社：Equipment Depot, Inc.

6. 連結営業利益増減要因 (前年同期実績対比)

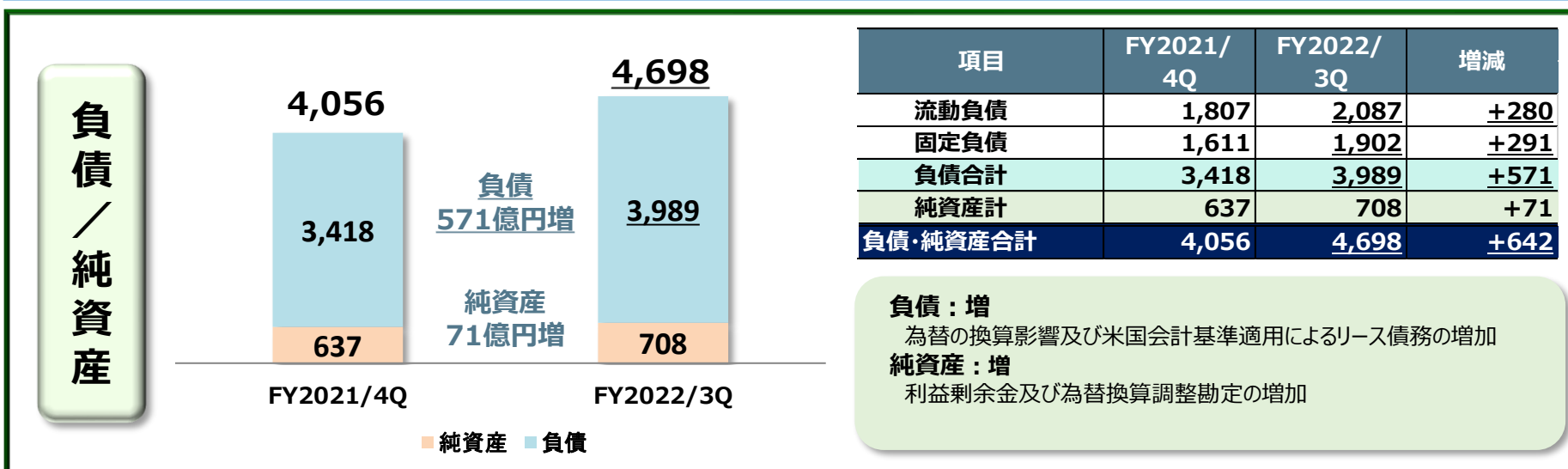
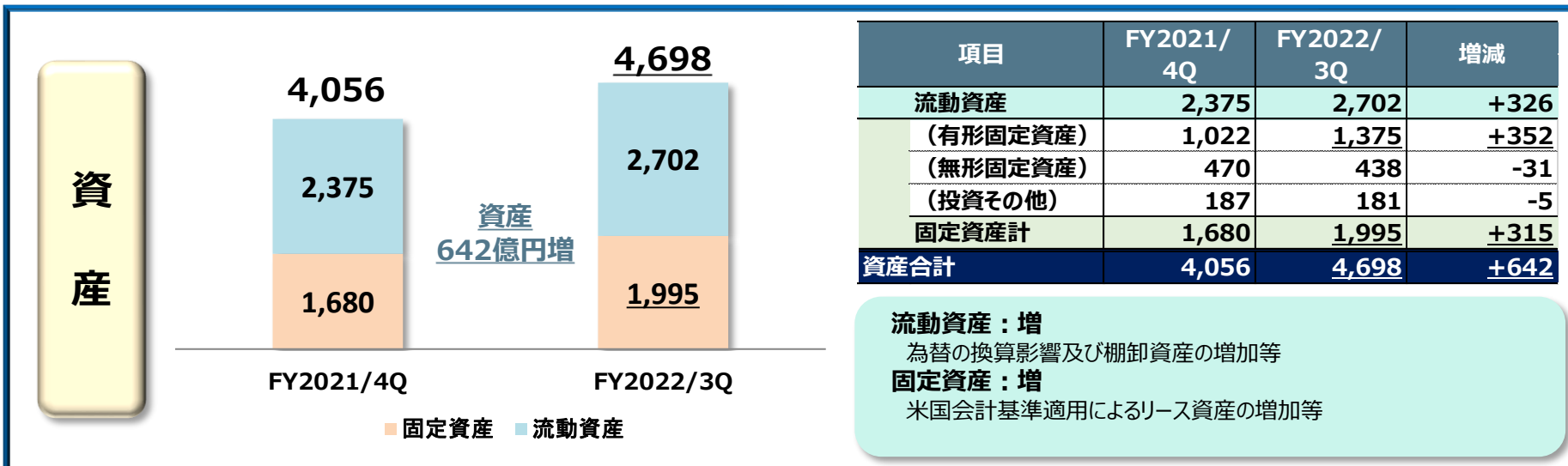
- 資材費・輸送費を始めとしたコスト高は依然として高止まり傾向。
- 売上高増、価格改定効果や為替の円安影響が寄与し、前年同期比で52億円の増益。



7. 連結貸借対照表

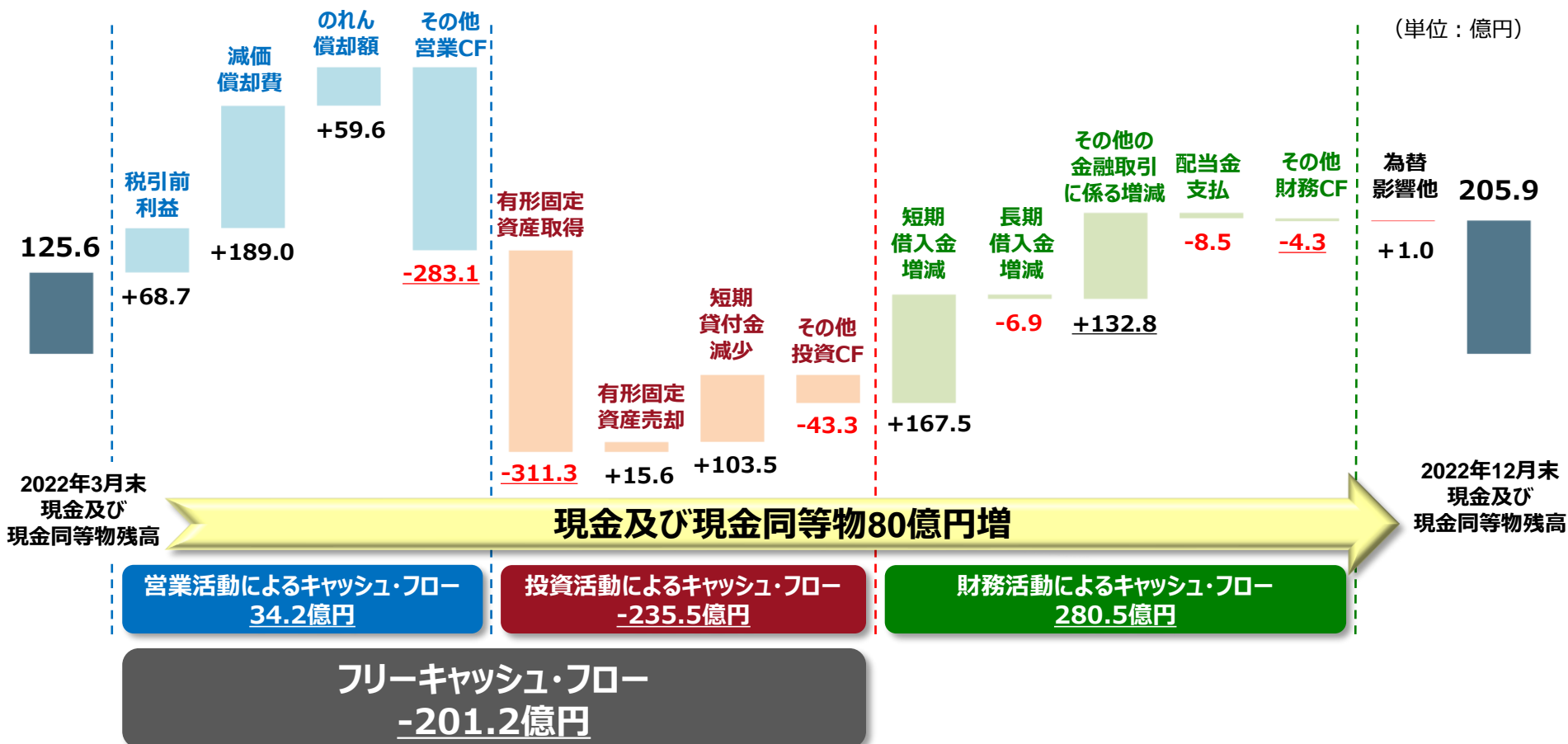
米国会計基準適用によるリース資産の増加及び為替の換算影響により総資産は増加。

(単位：億円)



8. キャッシュ・フローの状況

- 営業C/Fは34.2億円のプラスを確保。
- 投資C/Fは米国の旺盛なレンタル需要を背景としたレンタル用車両への投資拡大により-235.5億円。
- フリーC/F（FCF）は米国新リース会計基準適用により、資産売却収入を営業C/Fから財務C/Fに組替したこと等が影響し-201.2億円。
- なお、米国新リース会計基準適用により、従来基準に比べ営業C/Fの収入が119.4億円減少、投資C/Fの支出が38.8億円増加したことでFCFは158.2億円減少し、財務C/Fの収入が158.2億円増加している。



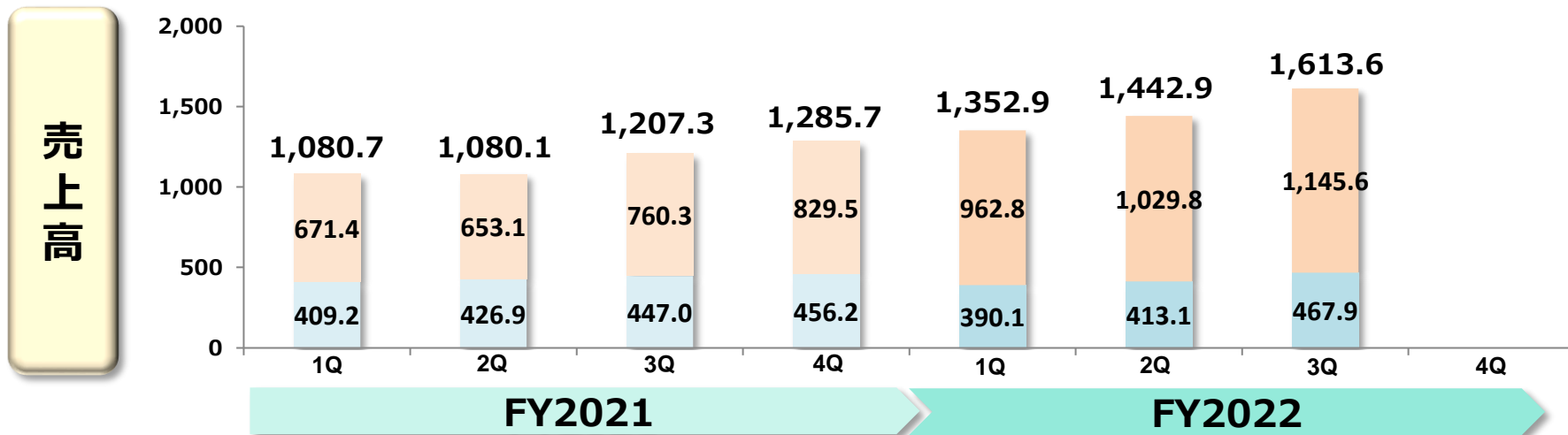
	指標	算式 ^(※1)	FY2021/4Q		FY2022/3Q		コメント
				のれん等償却前 ^(※2)		のれん等償却前 ^(※2)	
総合	総資本利益率 (ROA)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	0.2%	2.2%	0.9%	2.7%	売上高の大幅増加、価格改定効果、為替の円安影響による業績回復に伴い、各指数が良化。
	自己資本利益率 (ROE)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	1.2%	8.6%	5.8%	10.6%	
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	0.8%	2.8%	1.7%	3.5%	
	売上高当期純利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	0.2%	2.1%	0.7%	2.3%	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.2回		1.3回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	6.0回		6.8回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	4.6回		4.3回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	15.6%		15.0%		
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	3.0倍		3.2倍		
株式関連	1株あたり利益	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式数}}$	6.73円	89.52円	36.03円	125.88円	株価： 2022年3月末 : 932円 2022年12月末 : 699円
	株価収益率 (PER)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	138.5倍	10.4倍	19.4倍	5.6倍	
	株価純資産倍率 (PBR)	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.6倍		1.1倍		

(※1) PL項目は年換算して算出

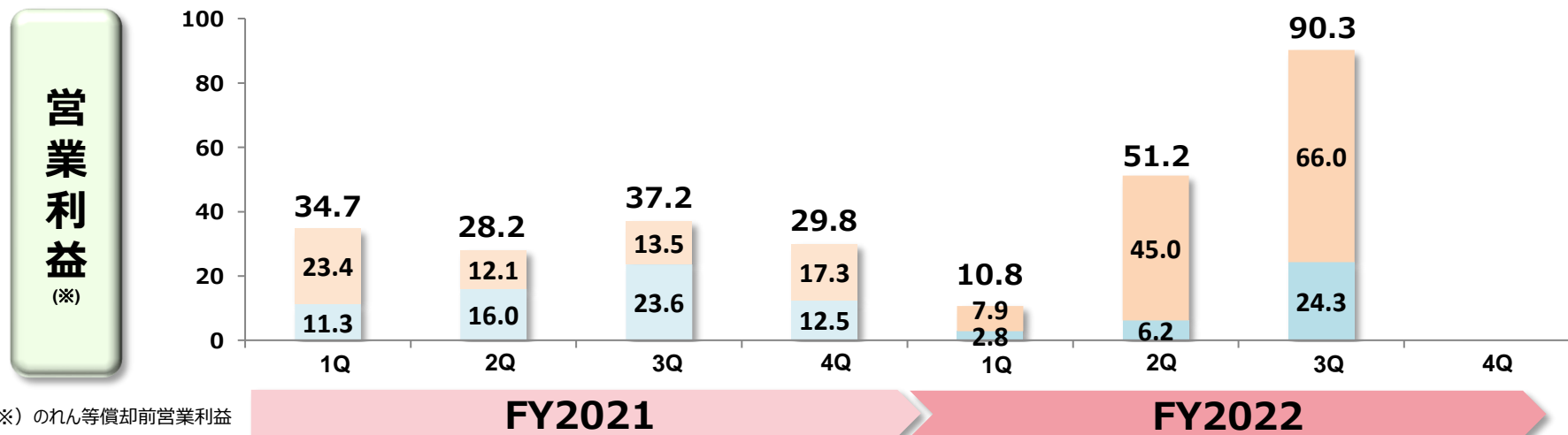
(※2) 参考値

【参考資料】四半期推移 (事業別売上高・営業利益)

(単位：億円)



(単位：億円)



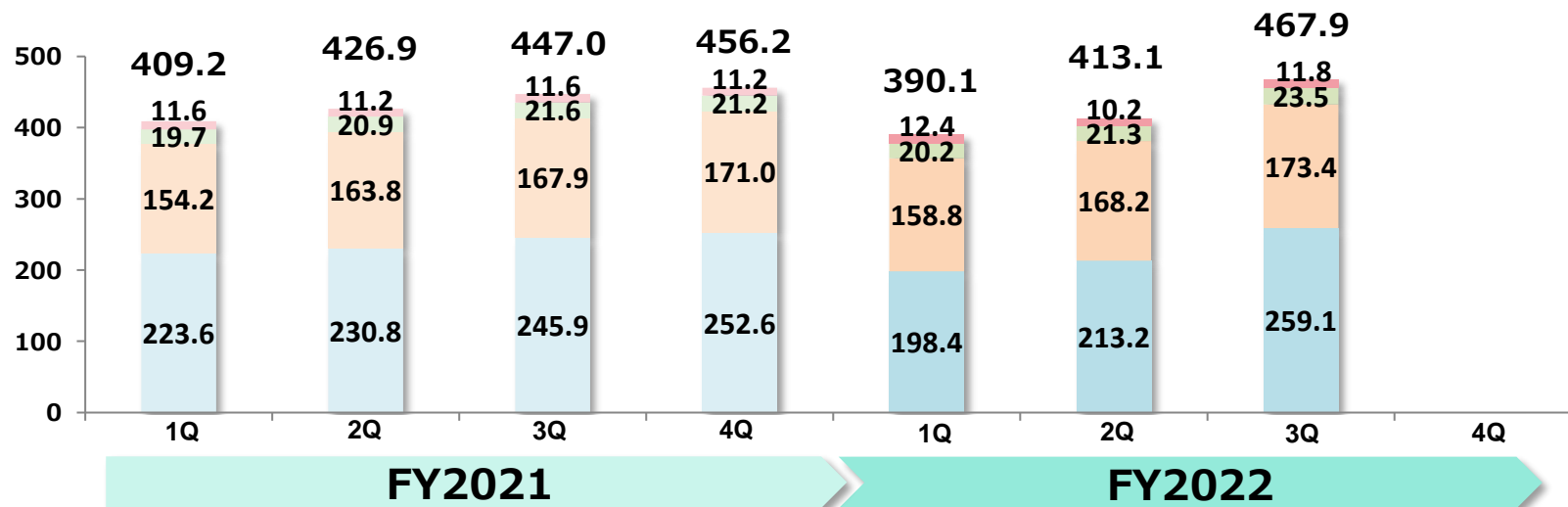
(※) のれん等償却前営業利益

【参考資料】四半期推移（カテゴリー別売上高）

(単位：億円)

■ 製品 ■ アフターサービス ■ リースレンタル ■ その他

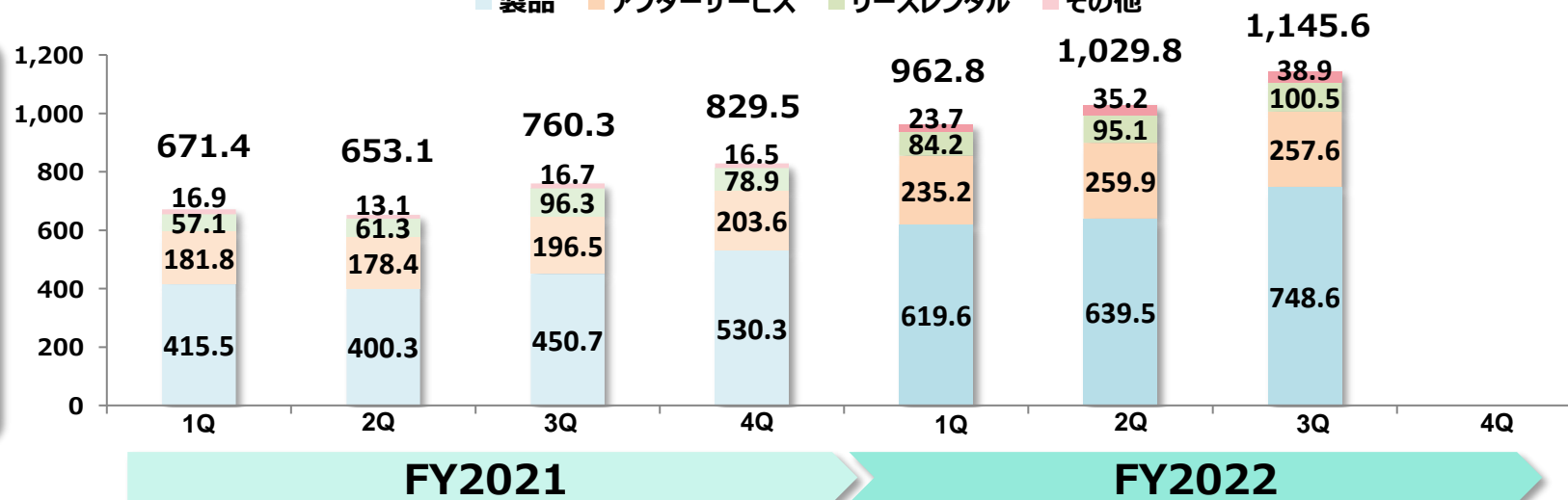
売上高／国内



(単位：億円)

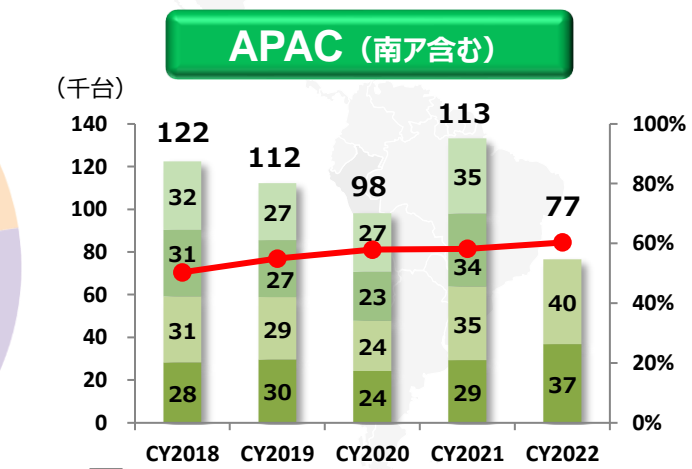
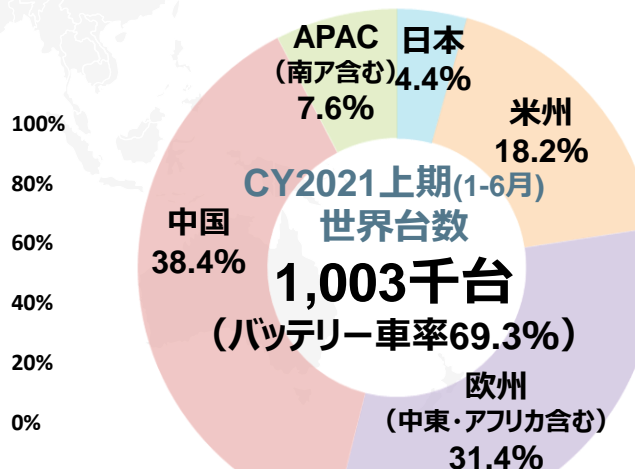
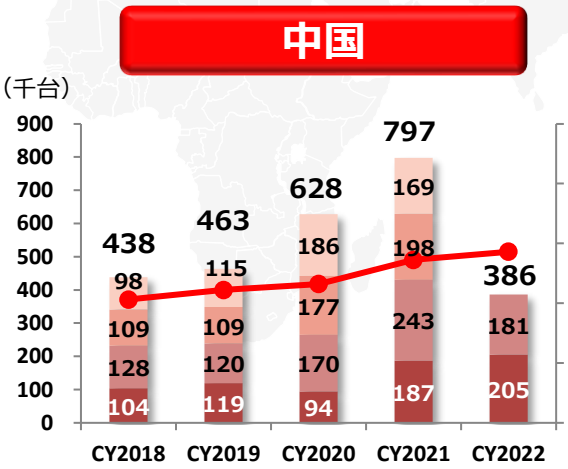
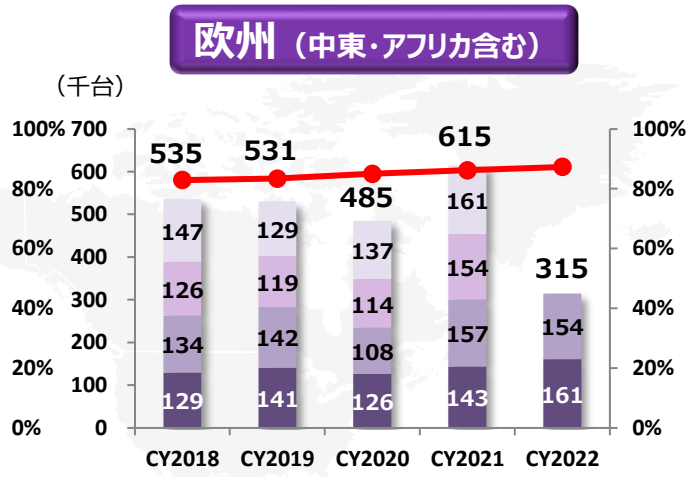
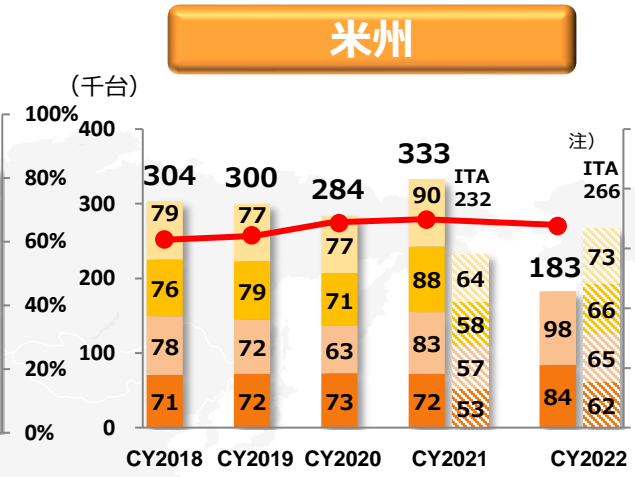
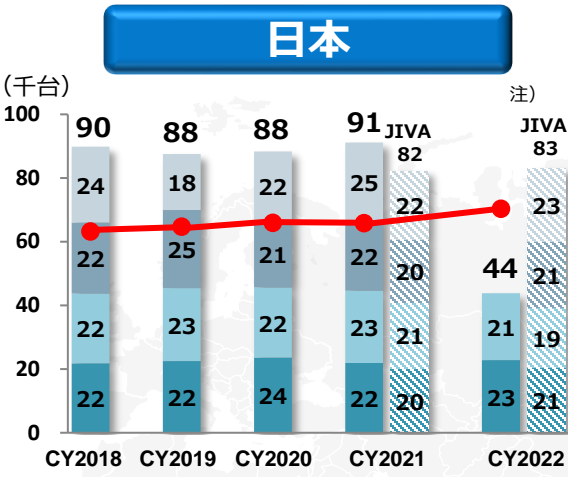
■ 製品 ■ アフターサービス ■ リースレンタル ■ その他

売上高／海外



【参考資料】フォークリフト市場動向【出荷】 (1月~12月) Logisnext

日本(JIVA)は前年と同様の水準で推移、米州(ITA)は景気減速感はあるものの物流機器市場は堅調を維持しており、前年を上回る需要が継続。



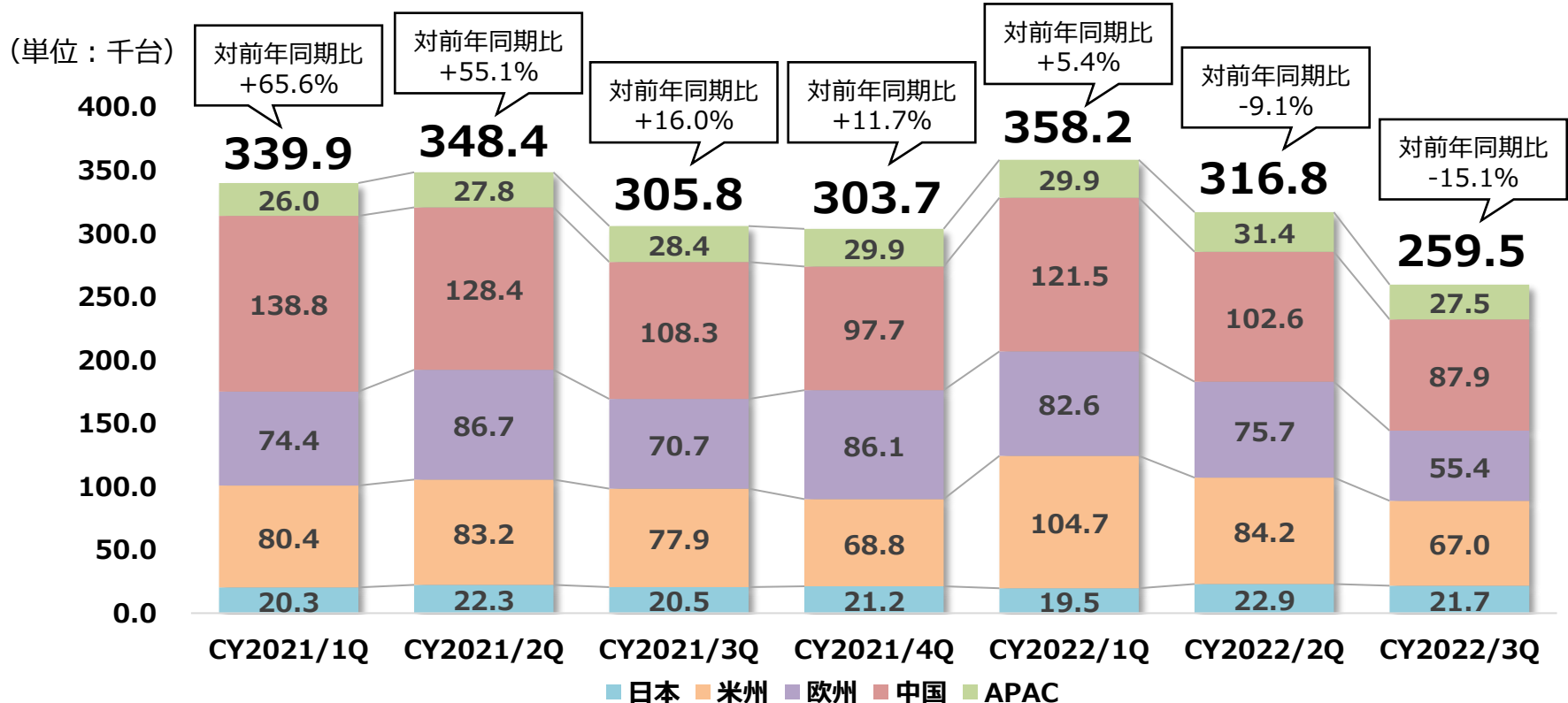
注) WITS加盟団体の統計開示方針変更のため1~12月のCYで集計
上記によるWITS統計開示遅延の為、日本はJIVA、米州はITAより集計。他地域は各国の統計データ未開示の為、CY2022/3Q以降は空白
なお、JIVAはWITSとは基準が異なり、一部の車種が含まれていない。ITAは中国・韓国メーカーの米州内販売台数が含まれていない

□ 市場台数
● バッテリー車率

【参考資料】フォークリフト市場動向【受注】（四半期推移）Logisnext

- 日本を除く全地域において、前年同期比で受注は減少。
- コロナ禍前よりは強い需要ではあるものの、インフレ抑制を目的とした各国中央銀行による利上げやロシアによるウクライナ侵攻長期化の影響から世界経済が減速していることで、需要は漸減。

受注台数（ClassⅢ(※)除く）



※ClassⅢ：自走式電動小型リフト

注) WITS加盟団体の統計開示方針変更のため1～12月のCYで集計

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO., LTD. All rights reserved.

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 財務企画部企画課 苅屋・光行

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-8610 FAX : 075-951-4038

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト